第32回国保・後期高齢者 ヘルスサポート事業運営委員会	資料 No.2-2
令和8年10月26日（月）	

令和８年度国保・後期高齢者ヘルスサポート事業報告書
様式の見直しについて

国民健康保険中央会
保健福祉部保健事業課

目　次

Ⅰ　ご意見いただきたい事項

１．ご意見いただきたい事項　・・　Ｐ　３

Ⅱ　令和８年度事業報告書様式において見直す主な項目について

１．令和8年度事業報告書様式の概要　・・　Ｐ　５

２．各様式の見直しのポイント　・・　Ｐ　７

３．令和８年度事業報告書に関する分析の方向性（案）　・・　Ｐ　10

参考資料

別紙１　令和8年度事業報告書様式　設問イメージ

Ⅰ　ご意見いただきたい事項

１．ご意見いただきたい事項

○ 評価の仕組を踏まえた国保・後期高齢者ヘルスサポート事業報告書（以下「事業報告書」という。）様式の見直しの内容について、ご意見いただきたい。

1.特に確認したい具体的な項目（案）の内容

・特に連携状況が重要となる都道府県及び事業の関係機関、外部機関について（P.7）

・保険者支援のアウトカムについて　（P.8、9）

○ なお、本日いただいたご意見を踏まえ、令和８年度事業報告書様式を確定することとしたい。

＜見直しスケジュール＞

・令和８年10月26日　本日の運営委員会にて協議のうえ確定

・令和８年12月末目途　事業報告書様式の配布

・令和９年 ３月末目途　事業報告書回収の〆切

・令和９年度上期　事業報告書とりまとめ

Ⅱ　令和８年度事業報告書様式において見直す主な項目について

１．令和8年度事業報告書様式の概要①

○今回見直し対象となる事業報告書様式の種類と現状は以下のとおり。
○セミナーの実施やKDB利活用支援について、毎年把握すべき項目は「連合会票・委員票・保険者票」、数年ごとに把握すべき項目は「各種セミナー実施状況報告書」「KDBシステム活用・支援状況報告書」で把握する。

	事業報告書様式の種類	報告主体	報告頻度、時期	概要
1	連合会票	連合会	毎年度末	保険者支援の実績（支援・評価委員会、支援・評価委員会以外）
2	委員票	支援・評価委員	毎年度末	支援・評価委員会の支援実績
3	保険者票	ヘルスサポート事業において支援・評価委員会及び国保連合会の支援を受けた都道府県、広域連合、市町村国保、国保組合、構成市町村	毎年度末	保険者が受けた支援の実績（支援・評価委員会、支援・評価委員会以外）、支援の評価
4	各種セミナー実施状況報告書 ①高齢者の保健事業セミナー ②糖尿病性腎症重症化予防セミナー ③KDBシステム活用セミナー 令和６年度からその他セミナーから独立 ④その他セミナー ※①～④は共通様式	連合会	令和６年度まで毎年、 以降**２年毎**の年度末 → **詳細な調査は２年毎とするが、実施状況については、連合会票で毎年把握することとする**	各種セミナーによる支援実績（実施内容、回数、講師の一覧　等）
5	KDBシステム活用・支援状況報告書（国保・後期） ①連合会票 ②広域連合票 ③市町村票 ④構成市町村票	・連合会、広域連合（～令和５年度） ・連合会、広域連合、支援・評価委員会を活用した市町村、構成市町村（令和６年度～）	令和６年度まで毎年、 以降**３年毎**の年度末 ※データヘルス計画の策定、評価・見直しに合わせて実施 → **詳細な調査は３年毎とするが、実施状況については、連合会票で毎年把握することとする**	KDBシステム活用支援実績（国保・後期におけるKDBシステムの活用・支援状況、KDBシステムを活用したツールの活用・支援状況　等）

高齢者に関する様式に関しては、第14回高齢者の保健事業ワーキング・グループでご意見を伺った。

1．令和8年度事業報告書様式の概要②

○事業報告書様式について、保険者支援における４つの視点により評価するため、最低限必要な項目は以下の通り想定している。
○ポイント①は関係機関等との連携状況について、ポイント②は連合会票・保険者票における保険者支援のアウトカムについて、ポイント③は各種セミナー実施状況報告書及びKDBシステム活用・支援状況報告書における評価の確認方法について新規追加・変更している。

	評価の視点	連合会票	委員票	保険者票	各種セミナー実施状況報告書	KDBシステム活用・支援状況報告書
1	ストラクチャー	変更 ポイント① ・支援体制 ・関係機関等との連携 新規 ・事業区分（支援・評価委員会以外の支援の場合） 移行 ＜KDB関連※1＞ ・データ分析担当職員の有無等	－	－	・関係機関等との連携	・関係機関等との連携
2	プロセス	変更 ・保険者支援計画 新規 ・保険者支援の取組状況 移行 ＜セミナー・KDB関連※1＞ ・セミナー実施、KDB利活用支援を行う上での課題、工夫している点	・支援・評価委員会の支援状況	－	・開催目的、開催方法等 変更	＜連合会向け＞ ・帳票・データの提供状況等※4 ＜（構成）市町村向け＞ ・KDBシステムの活用状況 ＜広域連合向け＞ ・KDBシステムの活用・支援状況
3	アウトプット	変更 ・保険者種別の支援保険者数 ・支援・評価委員会の活動状況 ・支援・評価委員会以外の活動状況 移行 ＜セミナー関連※1＞ ・セミナー開催有無、開催種別、開催区分、開催主体 移行 ＜KDB関連※1＞ ・KDBを活用した支援 ポイント②	－	変更 ・支援・評価委員会の活動状況 ・支援・評価委員会以外の活動状況※2 ポイント②	・開催回数、開催区分等 ポイント③	＜連合会向け＞ ・KDB活用事例
4	アウトカム	新規 ・保険者支援のアウトカム ＜セミナー・KDB関連※1＞ 移行 ・セミナー実施、KDBを活用した支援による効果	－	変更 ・支援・評価委員会の活動、支援・評価委員会以外の活動別の助言の充足度、支援に基づく対応状況※3	新規 評価の確認方法 ・開催の効果、課題	＜広域連合、（構成）市町村向け＞ 変更 ・連合会支援の評価※4

※1 セミナー報告、KDB報告から移行　※2 事業共通の評価を追加　※3 「対応未定」、「対応予定なし」を選択した場合、理由を記入　※4 新たにリリースしたFBR・概数把握機能に関する連合会支援の確認

2．各様式の見直しのポイント①

＜関係機関等※1との連携＞

都道府県との連携の重要性、「セミナーの効果的な支援につなげるためには、外部機関との連携が重要」という委員からのご意見（P.13 No.7）を踏まえ、以下のとおり関係機関・外部機関との連携状況を把握※2する（別紙1 1.連合会票No.3）。

様式の種類	項目	内容
連合会票	都道府県等の関係機関・外部機関との連携 ①都道府県・保健所、広域連合	①ヘルスサポート事業を進めるうえで密接な関係が求められる都道府県、広域連合については、連携していることを前提に連携内容、役割分担内容を確認。
	②市町村（庁内関係部署）	②市町村（庁内関係部署）との連携有無、連携内容、役割分担内容を確認。
	③外部機関（保健医療関係、介護福祉関係、教育機関・研究機関、その他）	③連携先の関係機関・外部機関、連携内容、役割分担内容を確認。

※1　ヘルスサポート事業で保険者支援を実施するにあたって、連合会との関係性を踏まえ、各機関を次のように表記した。
・関係機関…事業の主体および共同事業の対象となりうる機関（都道府県、保健所、広域連合、市町村の庁内関係部門など）
・外部機関…事業の直接の主体ではないが、専門的な知見や協力要請を通じて関わる機関（大学等の教育機関、医師会等の関係組織、企業など）

※2　各種セミナー実施状況報告書、KDBシステム活用・支援状況報告書においても、関係機関等との連携を確認。

2．各様式の見直しのポイント②

＜保険者支援のアウトカム＞

連合会の支援による連合会自身の変化、保険者の変化を把握するための保険者支援のアウトカムの捉え方について、以下のとおり整理する。

様式の種類	項目	内容
連合会票	連合会の支援目標の達成状況 ①連合会事業の支援目標※の達成状況	①支援目標を立てている場合、支援目標の達成状況を確認。 支援目標を立てていない場合、どのように評価しているかを確認。 （別紙1 1.連合会票No.17）
保険者票	県内保険者からの評価 ①保険者から見た助言の充足度の確認	①「助言の充足度」、「支援に基づく対応状況」を確認。（別紙1 3.保険者票No.1、2） ※令和７年度から実施。中央会にて連合会に集計結果をフィードバック。
連合会票	保険者の変化：アウトカムの改善状況の把握 ①健康課題の改善状況 （共通評価指標等）	①健康課題の改善状況を確認するために、保険者支援計画等で評価指標としている国の共通指標、県の独自指標等の数値目標があれば記入。（別紙1 1.連合会票No.16） ※アウトカム指標の設定に向け、中央会にて全国の傾向をモニタリング（令和９年度以降に様式を修正予定）。
連合会票	②PDCAを回せる保険者の把握	②連合会が、保険者がPDCAを回せていると判断しているか、またその把握・判断方法の記述を求める。 例えば、当該年度の重点課題について、保健事業の効果をKDBを用いて評価しているか、次年度計画に活かしているかを確認。（別紙1 1.連合会票No.16）

※保険者支援計画（目標）（別紙１ 1.No.4,5）については、令和7年度で中長期計画は約半数程度、単年度計画は7割以上が「計画を立てている」と回答。どのような計画をて立てているか、立てていないところがどう立てるかに役立てるため、具体的な内容を収集。内容ごとに分類し、フィードバックする予定。

2．各様式の見直しのポイント③

＜保険者支援のアウトカム（セミナー開催及びKDB利活用支援における評価）＞

連合会からは、毎年の企画、実施に追われており、効率的な開催等を目指すためには、効果があった具体的な内容や方法について、事例のフィードバックへの期待がある。

そこで、連合会が開催するセミナーやKDB利活用支援についても、連合会の支援のアウトカムを意識した項目を設定し、連合会自身の変化、保険者からの評価を把握する。

様式の種類	項目	内容
各種セミナー実施状況報告	評価の確認方法	①連合会の取組 企画、実施、評価段階における関係者への働きかけの有無、連携先、その内容を確認（別紙1 4.各種セミナー実施状況報告書No.15） ②参加者の反応 事後アンケート（満足度、理解度、実務への活用度）の有無、その結果を確認（別紙1 4.各種セミナー実施状況報告書No.15）
KDBシステム活用・支援状況報告	連合会から受けた支援効果の確認 ①連合会向け ②市町村国保向け ③広域連合向け ④構成市町村向け	①連合会票で把握するため、P.10参照 ②～④ ・KDB活用支援の有無、支援内容（データヘルス計画、個別保健事業、FBR・概数把握機能、その他）の確認（別紙1 5. KDBシステム活用・支援状況報告書⑵市町村票No.1,7,9、⑶広域連合票No.1,2,7,11,14、⑷構成市町村票No.1,7,10,13） ・受けた支援の評価（データヘルス計画、個別保健事業、活用支援ツール、実践支援ツール、その他）の確認 （別紙1 5. KDBシステム活用・支援状況報告書⑵市町村票No.8、⑶広域連合票No.12,15、⑷構成市町村票No.11,14）

４．令和８年度事業報告書に関する分析の方向性（案）

【これまでの経緯と現状】

連合会の保険者支援結果を毎年、事業報告書により集約したのち、中央会においてこれまではアウトプットを中心とした単純集計を行い、単年度ごとの支援状況として「事業報告書取りまとめ」を作成し、連合会への公表と国への報告を実施して来たところ。

・令和6年度以前・・・主に基本的な集計実施し（単純集計・全国値・一覧・グラフ化、経年等）事業報告書に取りまとめ公表。

・令和7年度・・・令和6年度までの内容に加えて項目間のクロス集計を行い、相関関係を見る試行的分析を実施。（未公表）

・令和8年度・・・令和7年度の試行的分析を踏まえ、保険者からの評価項目(助言の充足度や取組への対応)の集計、体制や取組内容とのクロス集計を実施。→ 事業報告書の別添資料として運営委員会に報告後、連合会に公表及び国へ報告予定。

【令和８年度事業報告書に関する分析と取りまとめの方針】

・基本的な集計・分析・・・見直した項目をもとに取組の基礎資料として毎年度、事業報告書に取りまとめ、連合会にフィードバックする。

・追加的な集計・分析・・・項目間のクロス分析や取組の効果分析等の詳細な分析については、分析方法や内容について運営委員会の議論を経て承認を得たものから、事業報告書に反映し、フィードバックする。

【分析の方向性】

（事業報告書を用いた分析）

・報告書様式を再構成したストラクチャー、プロセス、アウトプット、アウトカムの４つの視点で、連合会の支援状況の分析を行う。

・関係機関との連携の他、必要な項目について連合会票のみならず、保険者票、セミナー実施状況、KDB活用支援状況等の報告を組み合わせて、総合的に分析を行う。

・今回、検討した内容をもとに事業報告書の情報を蓄積し、連合会における評価項目の活用方法、見える化の検討を継続的に行うことにより、特にアウトカム評価についての検討を深め、将来的に保険者支援の評価指標を策定する。

（事業報告書以外のデータを追加した分析）

・保険者支援のアウトカム評価のうち、保険者の変化は、事業報告書以外に保険者のデータヘルス計画の評価指標やKDBデータと組み合わせて保険者の変化を確認し、連合会の支援の有無別に比較を行うなど、今後、継続的に検討する。

参考資料

参考１　第23･24回WG及び第14回高齢者WGにおけるご意見と対応（案）①

	様式の種類	項目	ご意見	対応（案）	備考
1	連合会票	4-2.関係者との連携状況の確認 等	**周辺環境･関係機関等との連携を踏まえた連合会の機能の明確化** ･民間企業や大学･研究機関等の知見も活用しながら、連合会だからこそ担える強み（県内保険者の横断的な課題把握や連携調整）を明確にすべきである。 ･近年の連合会の役割変化を踏まえ、連合会･中央会の強みを活かして積極的に取り組む必要性がある点を強調したい。	令和8年度様式の中で検討（別紙1 1.No.6,7）。 様式見直しの際、関係機関等との連携に関する項目の参考としたい。	第23回WG
2	連合会票	5-1.保険者種別の支援保険者数	**資源の配分** ･自走できる保険者への支援は減らし、支援が必要な保険者へ優先的にリソースを投入する等のメリハリのある支援計画とゴール設定を行うべきである。	未支援保険者の把握、アセスメントができるように様式設計の際に考慮（別紙1 1.No.13）。	第23回WG
3	連合会票	3-1.中長期の保険者支援計画	**中長期の保険者支援計画の設問内容** ①3-2の「●今年度の支援の振り返り」とは異なる意味合いがあるとは思いますが、区別しては答え難いので、3－1のこの質問は削除してもよいのでは？ ②会議の際にも発言したことですが、各保険者に係る基本情報を単年（例：https://www.aomoriken-kokuhoren.or.jp/pdf/toukei/kenkohoken_zukan_60g.pdf）の数値のみではなく、経年的な変化などを分析した上で、中長期の保険者支援計画を立てているか？　（→ これは8-1 にも関連）　といった内容を追加してはどうでしょうか？	①いただいたご意見を踏まえ、質問を削除（別紙1 1.No.4）。 ②いただいたご意見を踏まえ、設問内容を検討（別紙1 1.No.4）。	第23回WGの後
4	連合会票	4-7.計画の総合評価と次年度への活用	**支援の質を捉える設問の工夫** 保険者からの評価を収集することに加え、支援実施後に、支援内容･方法が保険者の課題･ニーズに実際に適合していたかを振り返る視点もあると、支援の質を捉えるうえで有用ではないかと思いました。	いただいたご意見を踏まえ、設問内容を検討（別紙1 1.No.5）。	第23回WGの後

※項番は今回WGで提示した項目案に合わせて見直し

第23・24回WG及び及び第14回高齢者WGにおけるご意見と対応（案）②

	様式の種類	項目	ご意見	対応（案）	備考
5	連合会票	8-2.連合会の支援目標の達成状況	**本設問のタイトル** 「●事業運営の改善とその結果の参加数の増加等」は、”項目だて”というよりも具体的な記述例でしょうか？その意味では、そのほかの「●」の項目とは異質のもののように感じられました。	ご指摘のとおり具体例のため、項目名を「連合会事業の支援目標の達成状況」に修正（別紙1 1.No.17）。	第23回WGの後
6	連合会票	9-1.セミナー報告関連（開催有無）	**連合会のセミナーへの関連度合の把握** 国保連合会が共催・協力・一部登壇している研修等が漏れなく拾えるよう、主催・共催・協力の整理と記入基準を明確にすべき。	令和8年度から連合会が主催共催するものに限らず把握し、関与状況を確認（別紙1 1.No.18）。	第14回高齢者WG
7	セミナー報告	評価の確認方法	**関係機関等との連携の重要性** ・市町村のニーズ把握や、三師会・専門職団体等との連携状況、開催に至る準備プロセスが把握できるような項目設計・工夫が望まれる。	令和8年度様式の中で外部機関との連携、セミナーにおける連携先、実績について確認（別紙1 4.No.15）。	第14回高齢者WG
8	連合会票	2-1.都道府県等の外部機関との連携、役割分担内容	**関係機関等との連携** ・「外部機関」という用語について、支援対象である市町村・広域連合や行政支援を行う都道府県・保健所と、地域で協働する医療機関・介護福祉・三師会・民間サービス等とが混在しているため、整理して設問設計を行うべきである。 ・都道府県もヘルスアップ事業をしており、都道府県を中心とした枠組みと、連合会が果たすべき役割の棲み分けや連携を整理して様式に反映させる。	・関係機関、外部機関の内容を整理し、本資料P.7を修正。 ・都道府県、連合会の役割の違い、両者の連携を確認するため、都道府県との役割分担の内容を確認（別紙1 1.No.3）。	第24回WG
9	連合会票	6-1.支援・評価委員会の支援内容 7-1.支援・評価委員会以外の支援内容	**支援の質を捉える設問の工夫** ・対面以外の支援手法として挙げられている「文書等」について、単なる一方的な通知や助言集の送付なのか、メール等による双方向の相談対応なのかによって質が異なる。実際のやり取りを踏まえた表現に整理すべきである。	支援形態で「書面開催」を選択した場合、具体的な内容を記入するよう変更（別紙1 1.No.14,15）。	第24回WG

※項番は今回WGで提示した項目案に合わせて見直し

第23・24回WG及び及び第14回高齢者WGにおけるご意見と対応（案）③

次のご意見については、今後引き続き検討したい。

ご意見
・セミナーの外部連携について、連合会と広域連合の双方が研修を実施し対象者が重複する実態がある。提供側での事前の連携や内容の棲み分けができているかといった質の担保が把握できるとよい。 ・外部機関との連携の対象として、関係機関だけでなく「保険者同士の連携」も含めて実態が把握できるように設定する。

※項番は今回WGで提示した項目案に合わせて見直し

参考２

現行の事業報告書の課題と対応（案）

○　現行の事業報告書について、これまで把握している課題については、対応案の通り改善することとしている。

	課題	対応案
全体	報告主体（連合会）の回答負荷がある。	・４つの視点（ストラクチャー、プロセス、アウトプット、アウトカム）や支援の取組状況のうちフィードバックに活用する項目を厳選し、既存項目のうち、活用意図が不明確な項目は削除。 ・経年変化で把握するものと、そうでないものを整理し、詳細な項目の把握は隔年や３年毎の事業報告書で確認。
	報告主体（保険者）が回答方法に迷いを生じる項目がある。 （ヘルスサポート事業か、ヘルスサポート事業以外の連合会による支援かの分類が難しいものがある。また、どこに記載すればよいかわかりづらい項目がある。）支援・評価委員会以外の内容であるが、セミナー・個別支援・データ提供等をまとめて回答することになっているが、ヘルスサポート事業による支援であるのか、ヘルスサポート事業でない連合会支援であるのかの区別がしづらい。	・記入例の追記および回答欄を修正。 ・支援・評価委員会以外の支援について、事業区分（ヘルスサポート事業／それ以外）を追加。
連合会票	支援の実績は把握できているものの、評価・改善につなげるための項目になっていない。	・４つの視点で項目整理した上で、項目を追加修正。 ・評価する際に事業報告書に基づく保険者支援に係る分析の方向性に示した分析内容を踏まえた項目を設定。
保険者票	支援・評価委員会以外の内容の事業別回答について、例えばデータ提供であれば、事業を跨って同じデータを提供しているため、回答方法が難しい。	・事業共通の回答欄を追加。
	事業改善に生かされたかどうかというところで、「検討しているが、対応は未定」というところがかなり多い。 連合会でもその理由が知りたい。	・支援に基づく対応状況に理由欄を追加。 ※「対応未定」、「対応予定なし」の場合、理由を記入。
各種セミナー実施状況報告書	セミナー実施状況報告書は、これまで、ヘルスサポート事業として実施している場合に提出をお願いしているため、ヘルスサポート事業以外の枠組みで実施されている場合の状況が把握できていない。	・ヘルスサポート事業以外で実施している場合についても報告いただき、どの事業の枠組みで実施しているか区別を追加。
	セミナーの企画・実施の具体的な内容や効果を示すことができていない。 評価を意図した項目設定となっていない。	・支援の詳細を追加（隔年実施） ・支援のPDCAが回っているかの振り返り（プロセス）を追加（毎年実施）
KDBシステム活用・支援状況報告書	KDBシステムの活用は、ヘルスサポート事業に限定されるものではないため、連合会が市町村等への配布の際に報告対象範囲の絞り込みに手間がかかる。 ※現行は、報告対象範囲を「支援・評価委員会を活用した市町村・国保組合・構成市町村」に限定している。	・連合会の判断により、すべての市町村に配布することも可とする。なお、ヘルスサポート事業において支援を実施したかについては、連合会の支援実績として報告してもらう。
	KDBシステムの活用・支援について具体的な内容や効果を示すことができていない。 評価を意図した項目設定となっていない。	・支援の詳細を追加（３年毎に実施） ・支援のPDCAが回っているかの振り返り（プロセス）を追加（毎年実施）
	報告の実施タイミングが３年毎になっており、タイムリーな情報収集ができない。	・評価の仕組に基づき、事業報告書を活用して支援の振り返りを実施（毎年実施）。

※各種セミナー実施状況報告書及びKDBシステム活用・支援状況報告書の課題及び対応策については、中央会「第14回高齢者の保健事業ワーキング・グループ資料」（令和8年8月27日）を一部改変

参考３　令和８年度ヘルスサポート事業報告を用いた分析　①基礎集計

例１　ヘルスサポート事業の支援率

連合会票

1.連合会、支援・評価委員会による支援状況（1）連合会による支援の状況

ヘルスサポート事業の支援率（5年比較）（国保・後期）

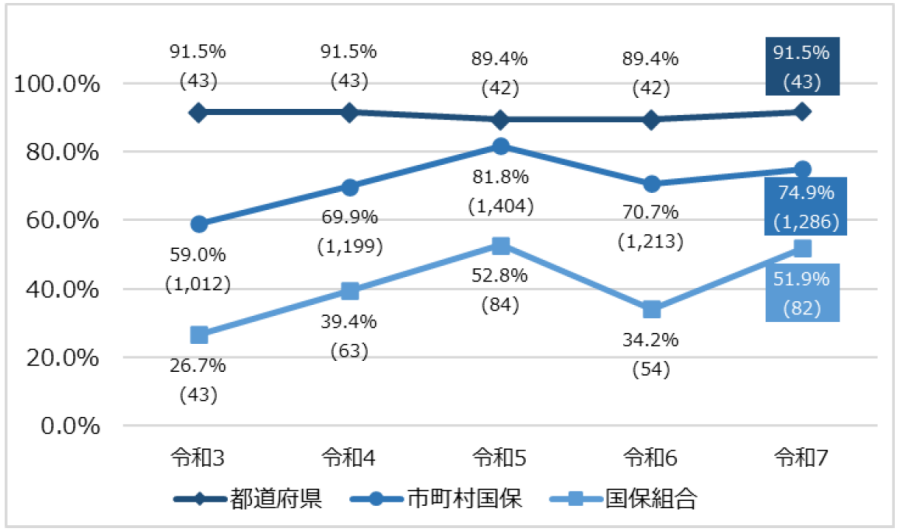
詳細は別添資料1 P.1～4

○**令和7年度ヘルスサポート事業の国保の保険者に対する支援率**は、**都道府県**に対しては**91.5%**（令和6年度89.4%）であり2.1ポイントの増加、 **市町村国保**に対しては**74.9%**（令和6年度70.7%）であり4.2ポイントの増加、**国保組合**に対しては**51.9%**（令和6年度34.2%）であり、17.7ポイントの増加であった。また後期の**広域連合**に対する支援率は**76.6%**（令和6年度70.2%）であり6.4ポイントの増加、**構成市町村**に対する支援率は、**37.6%**（令和6年度35.8%）であり、1.8ポイント増加であった。

経年比較

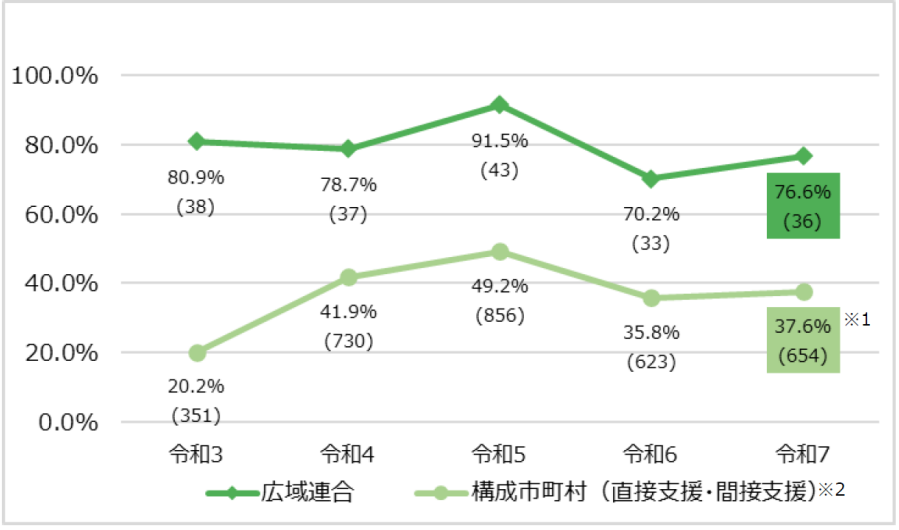
国保保険者

※都道府県N=47　市町村国保N＝1,716　国保組合N＝161(令和3年), 160(令和4年), 159(令和5年), 158(令和6～7年)



広域連合　**構成市町村**

※広域連合N=47　構成市町村N=1,741



※1 構成市町村の支援数合計は、「直接支援」と「広域連合を通じて支援（間接支援）」両方の支援を受けている構成市町村があるため、双方の合計数と一致しない。

※2 直接支援と間接支援についての詳細は、巻末の「本資料の用語一覧」参照。

中央会「令和７年度ヘルスサポート事業報告書取りまとめ」

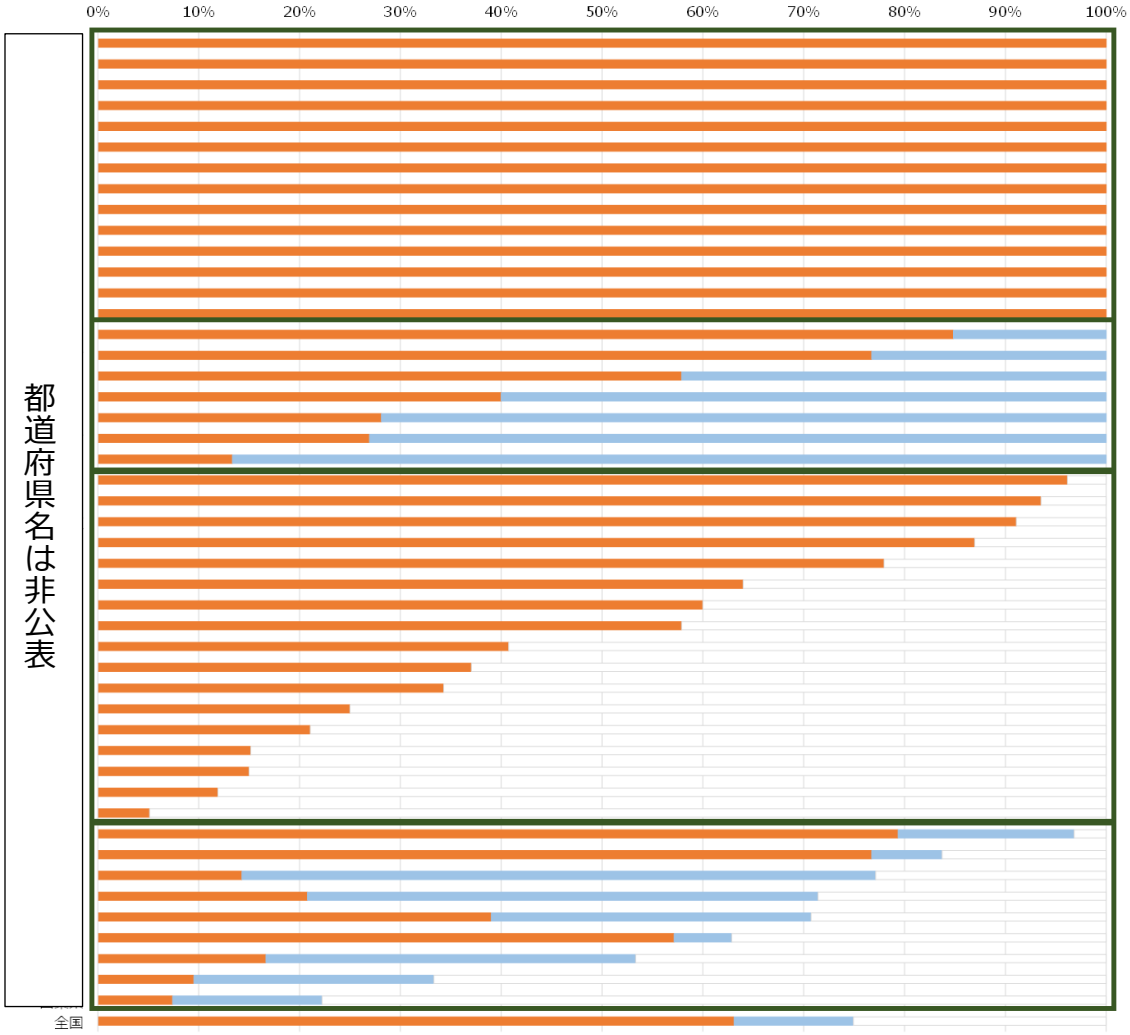
令和８年度ヘルスサポート事業報告を用いた分析　②47都道府県の可視化

例２　保険者支援の実態：保険者支援率別支援状況の違い

保険者支援の実態（４区分）：保険者支援率別支援状況の違い

（※都道府県内の全市町村を100%とした支援状況）

n＝47



（適用）
- ①：支援・評価委員会による支援
- ②：支援・評価委員会以外のヘルスサポート事業による支援

区分Ⅰ-1 全保険者を支援 【14連合会】
（全て①による支援）

区分Ⅰ-2　全保険者を支援 【7連合会】
（①及び②、②のみによる支援）

区分Ⅱ-1　一部の保険者を支援 【17連合会】
（全て①による支援）

区分Ⅱ-2　一部の保険者を支援 【9連合会】
（①及び②、②のみによる支援）

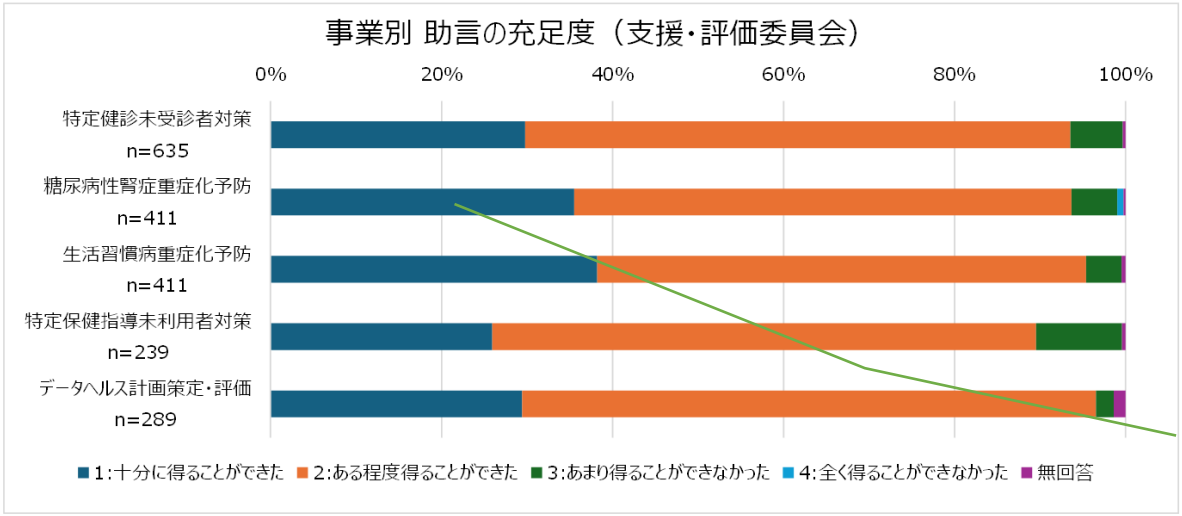
※区分の分類方法についての補足：①も②も受けている市町村は①、②は受けているが①は受けていない市町村は②の分類。保険者数の計算は以下により算出。
・支援・評価委員会以外の支援＝支援保険者数－支援・評価委員会支援数
・ヘルサポによる支援なし（白抜き）＝管内保険者数－支援保険者数

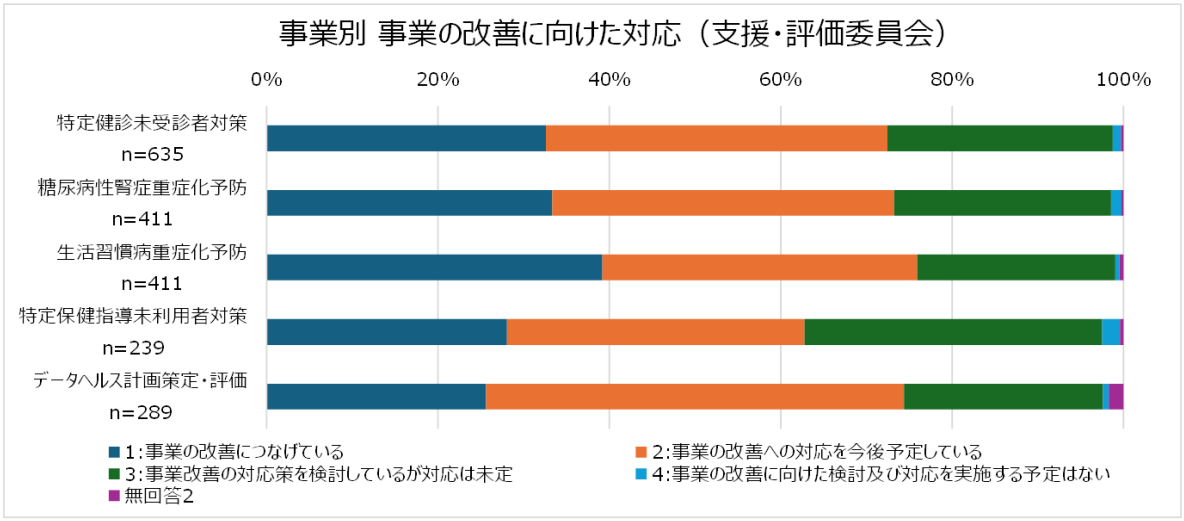
中央会「令和７年度ヘルスサポート事業報告書取りまとめ」

令和８年度ヘルスサポート事業報告を用いた分析　③項目間の比較

例３　支援の主要事業別　保険者の助言の充足度と改善に向けた対応との関係

支援・評価委員会





n=1,985（無回答含む）

その他調査データ（KDBデータ）と組み合わせて、保険者支援のアウトカム評価の検討材料とする。

例　助言の充足度が高く、事業の改善につなげている保険者について、生活習慣病重症化予防のアウトカムを確認

中央会「令和７年度ヘルスサポート事業報告書取りまとめ」

令和８年度ヘルスサポート事業報告を用いた分析　④保険者支援の状況確認

例４　保険者支援の状況確認

国保連合会名を選択すると、事業報告をもとに集計した項目が表示され、自連合会の保険者支援の状況を確認できる。また、全国平均や同規模連合会との比較ができる

ヘルスサポート事業報告（令和○年度）

国保連合会名	

	区分	項目	当該連合会	全国平均	同規模連合会
ストラクチャー	支援対象保険者等	①市町村国保保険者数			
		②構成市町村数			
		③国保組合数			
	連合会内部体制	④事務職（人）			
		⑤保健師、その他専門職（人）			
		⑥合計担当職員数（人）			
		⑦支援保険者あたり職員数			
	支援・評価委員会	⑧委員総数			
		⋮			
	関係機関等連携体制				

	区分	項目	当該連合会	全国平均	同規模連合会
プロセス	保険者支援指標	①国や都道府県の動向、保険者の状況等の確認			
		②関係者との連携状況の確認			
		③支援内容と支援方法の適切な設定			
		④計画に基づく支援の遂行			
		⑤実施した内容に対する保険者からの評価の収集・内容確認			
		⑥支援結果のとりまとめと報告			
		⑦計画の総合評価と次年度への活用			

支援指標の実施レベルの選択肢を点数化（例えば０～４点）して表示し全国平均と比較

	区分	項目	当該連合会	全国平均	同規模連合会
アウトプット	保険者支援実施状況	①支援・評価委員会支援保険者数			
		②支援・評価委員会支援率			
		③ヘルスサポート事業担当職員数			
		④担当職員1人当たり支援・評価委員会による支援保険者数			

	区分	項目	当該連合会	全国平均	同規模連合会
アウトカム	支援事業数と保険者の充足度、事業改善評価	①支援事業数			
		②保険者票提出保険者あたり事業数			
		③十分有効な情報が得られたとする事業数			
		④十分有効な情報が得られたとする事業の割合			
		⑤十分有効な情報が得られたとする保険者数			
		⑥必要な助言が十分に得られたとする保険者の割合			

※項目はイメージであり、今後検討

令和８年度ヘルスサポート事業報告を用いた分析　⑤他県連合会の事例紹介

例５　保険者支援計画･実績に関する他県連合会の事例紹介

先進的な連合会の事例を紹介し、保険者支援計画の具体例を確認できる。

健康課題の改善を支援目標に掲げる連合会の事例

保険者支援計画

中長期	保険者支援計画	
単年度	保険者支援計画	
	支援における課題	
	今年度の支援の振り返り	
	①課題	
	②課題への対応	
	③支援において工夫した点	
	支援目標の達成状況	

※項目はイメージであり、今後検討